

材料技術開発のための実践講座

セラミックス粉体プロセッシングの 技術動向

会員
限定※

参加
無料

※非会員様も新規ご入会いただくことでご参加いただけます。

セラミックス材料は、情報通信やエネルギー・環境分野をはじめ、幅広い分野で活用されており、その性能や品質を決定する製造技術の重要性はますます高まっています。本講座では、セラミックス粉体の調製や成形に関する基礎技術から、凍結造粒や 3D 積層造形などの先端的な製造技術までを、実際の応用事例を交えながら分かりやすく解説します。最新技術の動向を把握したい方はもちろん、基礎から学び直したい方にも有益な内容となっています。

講演

粉末積層造形法を用いたセラミックス成形技術

マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 研究グループ長 嶋村 彰紘 氏

セラミックス成形を支える粉体造粒技術の最前線

マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 上級主任研究員 近藤 直樹 氏

日時

2026 年

11 月 20 日 金

13:30-16:15

会場

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）15 階
産業技術総合研究所 名古屋駅前サイト
アクセス ▶ <https://www.winc-aichi.jp/access/>

定員

法人会員様は複数名でご参加いただけます。

会場参加： 25 名（先着順）

WEB 参加： 制限なし

申込方法

※非会員様も新規ご入会いただくことでご参加いただけます。ご希望の場合は事務局までお問合せ下さい。

二次元コードまたは URL よりお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/GpET03vqBD>

※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

申込締切：2026 年 11 月 18 日 水



プログラム

13:30-13:35	開会・趣旨説明
13:35-14:35	講演① 粉末積層造形法を用いたセラミックス成形技術
14:35-14:45	休憩
14:45-15:45	講演② セラミックス成形を支える粉体造粒技術の最前線
15:45-16:15	アンケート記入・意見交換・名刺交換
16:15	終了

講演概要

講演① 粉末積層造形法を用いたセラミックス成形技術

セラミックス成形技術について、近年注目を集めている三次元積層造形技術の一つである粉末積層造形技術を活用した技術事例を取り上げ、一般的な技術概要から当グループで開発を進めている技術内容まで紹介します。



マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 研究グループ長

嶋村 彰紘 氏

略歴

2011年3月：徳島大学大学院博士後期課程修了、博士（工学）

2014年4月：産業技術総合研究所入所

2015年5月：The University of Auckland 博士課程修了、PhD（理学）

現在：産業技術総合研究所マルチマテリアル研究部門セラミックス部材プロセス研究グループ 研究グループ長

専門：セラミックス粉体プロセスと評価

講演② セラミックス成形を支える粉体造粒技術の最前線

セラミックス粉体の造粒は、粉体の流動性・充填性・成形性を向上させるために不可欠な工程です。本セミナーでは、セラミックスプロセスに用いられる様々な造粒法のうち、最も一般的に用いられるスプレードライ法と、近年注目を集めている凍結造粒法について紹介します。



マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 上級主任研究員

近藤 直樹 氏

略歴

1993年3月：大阪大学大学院工学研究科修士課程修了

同4月：工業技術院名古屋工業技術試験所入所（現 産業技術総合研究所）

2000年1月：博士（工学）

現在：産業技術総合研究所マルチマテリアル研究部門 上級主任研究員

専門：セラミックスの作製プロセスと評価

名古屋工業技術協会では、ものづくり産業の活性化を目的に、最新技術の動向、国の施策、将来技術に関する情報発信や人材育成のためのセミナー等を通じて会員相互の連携、交流を進めています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

お問い合わせ

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター産学官連携推進室 内

☎ 052-736-7370

✉ M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp



名古屋工業技術協会 HP

産総研
ともに挑む。つぎを創る。